

平成28年度 事業報告書

社会福祉法人
福岡市早良区社会福祉協議会

社会福祉法人福岡市早良区社会福祉協議会 平成28年度事業報告

近年の地域社会・地域コミュニティは、少子高齢化や都市化の進行、人口減少社会への転換などの社会構造の変化を受け、単身世帯の増加とともに地域や家族から孤立する人々に、公的な制度に基づくサービスや支援だけでは対応できない深刻な生活課題が、地域課題として、私たちの目の前に顕在化しつつあります。

このような課題は、一部の人々だけに起る問題ではなく、これらを「他人ごと」ではなく、「自分ごと」として捉えていくための住民の意識変革をはじめ、社会福祉の仕組みにおいてもさまざまな変革が求められています。国では社会福祉法の改正に向けた取り組みが進められており、この動きを受けて、本会においても社会福祉法人としての基盤整備や他法人との協働を推進いたしました。

また、第5期福岡市地域福祉活動計画の初年度として重点項目を中心に、これまで以上にさまざまな機関や団体・企業等との連携を深め、その基盤づくりを進めてきました。

その成果の一端としては、社会福祉法人や福祉事業所などがネットワークを組み、地域福祉活動に関わり始めることになりました。このことは、今後の地域の課題解決に向けて、校区社協等にも大きな力になると考えております。

平成28年度の主な実施事業は、以下のとおりです。

重点項目

- 1 小地域福祉活動の推進
 - (1) 校区社会福祉協議会強化への支援
- 2 ボランティアによる社会参加の拡大
 - (1) 社協ボランティアセンターの機能強化
 - (2) シニアボランティアに関する取り組みの拡充
- 3 生活課題解決モデルの開発
 - (1) 移動支援・買い物困難者支援の仕組みづくり
 - (2) 市民が支える住み続ける仕組みづくり
 - (3) 「地域の子ども」プロジェクト
- 4 拠点型地域福祉の推進
 - (1) 社会福祉法人による地域における公益的な取り組みに向けての協働
 - (2) 遺贈と空き家の活用による地域福祉の拠点づくり
- 5 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化
 - (1) 地域福祉ソーシャルワーカー配置体制の強化
- 6 権利擁護事業の拡充
 - (1) 社会福祉協議会が目指す市民の権利擁護
- 7 地域福祉を推進するための基盤づくり
 - (1) 福祉教育関連事業の見直し
 - (2) 地域福祉活動における個人情報共有化の推進

重点項目

※特に記載がない場合、文中、表中の数値は、平成29年3月31日現在のもの。

1 小地域福祉活動の推進

(1) 校区社会福祉協議会強化への支援

住み慣れた地域で、誰もが自分らしく安心して暮らせる「ともに支えあう福祉のまち」を目指し、校区社協を中心とした地域福祉活動を推進した。

① 地域特性に応じた福祉活動の展開

(ア) 校区福祉座談会の開催及び「校区福祉のまちづくりプラン」策定支援事業

地域の特性に応じた課題や解決策を住民が主体的に話し合い、目標を見出し実践につなげる方法として校区福祉座談会を開催するとともに、その内容を住民と共有するため、「校区福祉のまちづくりプラン」策定を支援した。

●校区福祉のまちづくりプラン策定 目標4校区 →実績1校区（四箇田校区）

<福祉座談会 実施状況>

i 四箇田校区※高齢者地域支援会議として、区役所と共働実施

日時	場所	参加者	テーマ
平成28年 8月29日(月) 19時30分～ 21時	四箇田 公民館	23	①これまでの振り返り ②グループワーク ・校区の中の困りごとなど
12月14日(水) 19時30分～ 21時		22	①グループワーク ・校区にあるもの、校区にないもの ・10年度、こうだったら嬉しい、 こうだったら困る
平成29年 2月20日(月) 19時30分～ 21時		20	①取組内容の残り2項目の決定 ②プラン内容決め ※四箇田校区福祉のまちづくりプランを 策定し、全戸に配付



ii 野芥校区※高齢者地域支援会議として、区役所と共働実施

日時	場所	参加者	テーマ
平成28年 9月26日(月) 19時30分～ 21時	野芥 公民館	49	「続・これからの野芥を考える」 ①プランの取組状況の報告・共有・今後の 課題について
平成29年 3月14日(月) 14時30分～ 16時		59	「続・これからの野芥を考える」 ①平成28年度のあゆみ/平成29年度の課 題と目指す方向 ②野芥サポートについて



iii 高取校区※高齢者地域支援会議として、区役所と共働実施

日時	場所	参加者	テーマ
平成28年 12月6日(火) 13時30分～ 15時30分	高取 公民館	44	①高齢者地域支援事業とは？ ②グループワーク ・校区の良いところ・活動していること ・課題・困りごとや足りない活動
平成29年 1月24日(火) 15時00分～ 16時30分		39	①グループワーク ・10年後の校区の目標、取り組み内容
2月28日(火) 15時00分～ 16時30分		48	①グループワーク ・校区福祉のまちづくりプランの内容



iv 飯倉校区※高齢者地域支援会議として、区役所と共働実施

日時	場所	参加者	テーマ
平成29年 1月28日(土) 11時00～ 12時30分	飯倉 公民館	64	①高齢者地域支援事業とは ②活動団体による活動状況の報告
2月25日(土) 11時00分～ 13時30分		66	①グループワーク ・各団体に分かれて現在の活動について 再確認し、参加者全体で共有
3月25日(土) 11時00分～ 13時30分		58	①グループワーク ・「見守り活動」をテーマに、各町内で 明日からでも取り組むことができる 目標決め



② 校区社協の基盤をなす活動の拡充

(ア) ぶんれあいネットワーク活動の拡充

校区社協が中心となって実施している、地域で孤立しがちなひとり暮らしや高齢者夫婦世帯・障がい者等を対象とする見守りや訪問活動を行って日常生活を支援していく「ぶんれあいネットワーク」活動を支援・推進した。

新たに2自治会(田隈校区)でネットワークが立ち上がり、全350町のうち、258町で活動が行われている。

●実施自治会(町内会)率 目標80% → 実績 73.7%

※実施状況は、別表1(P19)のとおり。

i ぶんれあいネットワーク新規立上げ支援事業 ※早良区社協独自

年度途中で新規にぶんれあいネットワーク活動の準備が始まった自治会に対して、1自治会5,000円を限度に会議費や資料作成費等、立上げ時に必要な経費を助成した。

校区	申請自治会数	申請額
田隈	2自治会	10,000円

ii ぶんれあいネットワーク研修会の開催

日 時	会 場	参加者	内 容・講 師
平成28年 11月16日(水)	早良市民 センター	48	<p>1. 講演 テーマ：「現場からみた孤立死防止（セルフ・ネグレクトと孤立死）」 講 師：特定非営利活動法人孤立防止センター 理事長 速水 靖夫 氏</p> <p>2. 実践報告 ①賀茂校区 原南団地自治会 「生活支援活動と見守り活動について」 会長 嘉村 勝敏 氏 ②入部校区 三郎丸自治会班 「ネットワーク活動における社会資源との連携について」 書記 宮川 伸吾 氏</p> <p>3. 情報交換交流会 テーマ①「ネットワーク活動における生活支援の取り組み」 テーマ②「ネットワーク活動における課題や困りごと」</p>



(イ) ぶんれあいサロン活動の拡充

校区社協や地域ボランティアが、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯、障がい者等と定期的に公民館や集会所につどい、交流する「ぶんれあいサロン活動」を推進・支援した。

早良区内では、24校区62か所で活動が実施されている。

※実施状況は、別表2（P19～20）のとおり。

●新規活動開始 目標3か所 → 実績6か所

(小田部校区1か所、飯倉校区2か所、田隈校区1か所、四箇田校区1か所、内野曲沢校区1か所)

i ぶんれあいサロン研修会の開催

日 時	会 場	参加者	内 容
平成29年 2月14日(火)	早良市民 センター	65	ワールドカフェ方式による情報交換会 <主な内容>
2月15日(水)		38	「他のサロンにもすすめたい情報」を共有し、参加者みんな で次年度の計画に使える情報（講師情報・講座情報など） をまとめよう。



③ 超高齢社会・大介護時代の到来に備える活動の拡充

(ア) 生活支援ボランティア活動支援事業

日常の“ちょっとした困りごと”の支援を、身近な地域（校区・町内）で行う「生活支援ボランティアグループ」の立上げを支援した。また、活動中の生活支援ボランティアグループに対しては、定例会への参加や助言を行った。

●新規活動開始 目標3団体 → 実績3団体

＜実施状況＞ **太字**…平成28年度からの新規

校区	団体名	活動単位	主な活動内容
原西	原西おせっ会	校区	ゴミ出し、話し相手、電球交換、草取り等
賀茂	たのまん会	町内	草取り、庭木の剪定、包丁研ぎ、電球交換等
	ふれ愛・チーム分譲	町内	ゴミ出し、話し相手、電球交換、買物代行等
野芥	野芥三寿会お手伝いクラブ	町内	包丁研ぎ、草取り、剪定、家具移動等
	野芥新町てつだい隊	町内	ゴミ出し、照明器具点検、植木の植え替え
四箇田	楽まれ隊	校区	ゴミ出し、草取り、家具移動、代読代筆等
早良	ふれあいサポート・手つだい隊	校区	枝切り、草取り、家具移動等



網戸の張替え



草取り

(イ) 校区在宅介護者のつどい事業

家族で寝たきり高齢者、認知症高齢者を介護している家族を対象に、日頃の悩みや体験について意見交換や介護者同士の交流、心身のリフレッシュを目的とした集いを実施した。

＜実施状況＞

校区	日時	参加者数	内容
大原	平成28年10月12日（水）	12	意見交換、懇談
野芥	毎月1回（第3金曜日）	平均3	茶話会、福祉相談
飯原	毎月1回（第1水曜日）	2	茶話会、福祉相談、講座



大原校区

(ウ) 地域主要団体の共通認識醸成への取り組み ※早良区社協独自

i 関係機関との連携強化研修会の開催

平成28年度は実施していない。

2 ボランティアによる社会参加の拡大

(1) 社協ボランティアセンターの強化

ボランティア活動に関する相談やボランティアの育成、情報の提供等を行うため、福岡市社協と連携してボランティア活動を推進した。

① 区ボランティアセンターによる個人ボランティアの登録、活動の紹介

(ア) ボランティアコーディネーション事業

ボランティア活動を希望する人への活動先の紹介、ボランティアの援助を求めている人への対応（コーディネーション）等、ボランティアセンターの運営を行った。

i) 個人登録者数 231名

ii) 相談・対応件数



相談	対応				
	ボランティア紹介、他機関紹介	辞退	対応できず	調整中	相談のみ
475	455	15	1	4	0

(2) シニアボランティアに関する取り組みの拡充

シニア世代のボランティア活動希望者に対し、ふれあいネットワーク・サロン活動などの地域福祉活動を中心にコーディネートし、シニア世代の社会参加や生きがいづくりを支援した。

① 傾聴ボランティア養成講座

シニア地域サポーター養成講座として「早良区傾聴ボランティア養成講座」を開催し、受講生による傾聴ボランティアグループ「ふくろう」の立ち上げを支援した。



○ 受講者：23名 ○ 会場：早良市民センター

	日時	内容	講師
1	平成28年 10月 4日 (火)	・ボランティアとは ・3つの聴き方	・社協職員 ・NPO法人 FFAフォロワーシップ協会
2	10月11日 (火)	傾聴の技法①（受容・事柄）	認知症キャラバンメイト
3	10月18日 (火)	認知症について	NPO法人
4	10月25日 (火)	傾聴の技法②（感情への応答）	FFAフォロワーシップ協会
5	11月 1日 (火)	傾聴の技法③（要約・質問）	施設職員
6	11月 8日 (火)	2か所の特別養護老人ホームにて ボランティア体験	NPO法人 FFAフォロワーシップ協会
7	11月15日 (火)	傾聴総合	
8	11月22日 (火)	・傾聴まとめ ・これからの活動に向けて	

② 介護支援ボランティアの登録、紹介

65歳以上の高齢者を対象に介護保険施設でボランティア活動の際にポイントを付与し、そのポイントを換金・寄附できる「介護支援ボランティア事業」を福岡市社協と連携して推進した。

3 生活課題解決モデルの開発

(1) 移動支援・買物困難者支援の仕組みづくり

① 住民参加型の移動支援の仕組みをつくる

福岡市社協が福岡市から受託した「地域との協働による移動支援モデル事業」において、応募団体募集にあたり、校区へのヒアリングを行うとともに、さわら南よかこネットの申請支援を行った。
(モデル校区は東区香住丘校区に決定)



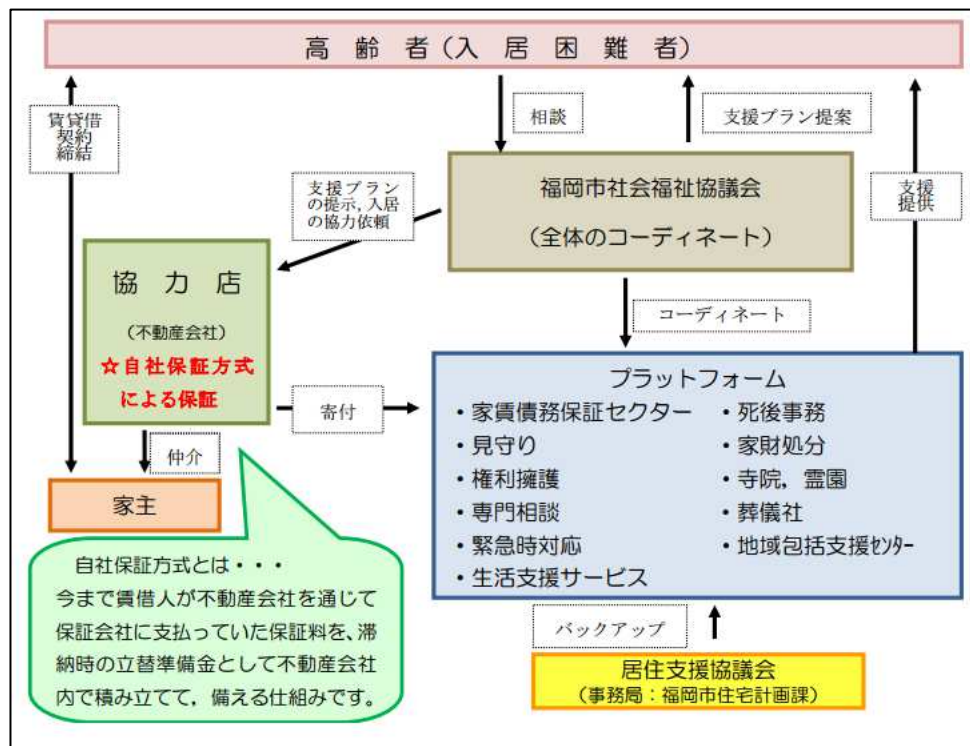
② 買物支援ガイドブックの更新

買物困難者への支援のための買い物支援ガイドブックの内容を更新するため、買物支援に協力している店舗や商店等の情報を民生委員等から収集した。(平成29年度の発行を予定。)

(2) 市民が支える住み続ける仕組みづくり

① 住まいサポートふくおか事業との連携

「緊急連絡先」や「保証人」を確保できない高齢者を支援するために福岡市社協が実施する「住まいサポートふくおか」と連携し、支援を行う他のサービス団体・機関と併せて地域の見守り活動等へのつなぎ等を実施した。



(3) 「地域の子ども」プロジェクト

経済的に困窮している子育て中の世帯や、地域住民との関係が希薄で孤立し、生きづらさを抱えている世帯等の課題解決に向け、「食事をとることが困難な子どもの居場所と食事の提供の場づくり」「子どもが安心できる居場所づくり」の視点をもちながら、地域住民や大学、UR等、多様な主体による居場所(早良区内3か所)について、実施状況の把握に努めた。

4 拠点型地域福祉の推進

(1) 社会福祉法人（施設や事業所を運営する）による地域における公益的な取り組みに向けての協働

① 個別解決モデル創造事業

(ア) 認知症を地域で支える仕組みづくり

区内の介護事業所等や地域に働きかけ、地域で認知症を支える仕組みづくりとして認知症声かけ訓練を行った。

●実施 目標3か所 → 実績2か所（入部校区・有田校区）

校区	日時	参加者・団体	内容
入部	平成28年 11月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 入部校区自治協議会 さわら南よかとこネット 早良第6いきいきセンターふくおか 早良区地域保健福祉課 <店舗> <ul style="list-style-type: none"> マクドナルド重留店 TEC（美容室） アイパックス（弁当パック卸売店） 	<自治会班（重留三丁目、三郎町）> <ul style="list-style-type: none"> 認知症の方への声のかけ方、接し方を学ぶ 自治会内において、認知症の方を見かけた時の連絡手順を考える <店舗班> <ul style="list-style-type: none"> 認知症の方への声のかけ方、接し方を学ぶ 認知症の方を見かけた時の連絡先を学ぶ
有田	12月12日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 校区社会福祉協議会 さわら南よかとこネット 早良第4いきいきセンター 第4圏域内7事業所 計39名	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の基礎知識や声のかけ方や対応の仕方を寸劇を交えて学ぶ 認知症の方を見かけた時の対応や連絡手順を実践するためにはどうすればよいかグループワークで意見交換

② 専門スタッフ派遣事業

理学療法士会の協力を得て、理学療法士とふれあいサロンとのコーディネーションを行った。

●コーディネート件数 目標 24件 → 実績17件

※実施状況は、別表3（P21）のとおり。

(2) 遺贈と空き家の活用による地域福祉の拠点づくり

増加する空き家を福祉活用し、地域密着型の居場所・住まいづくりや福祉活動の拠点づくりである「社会貢献型空き家バンク事業」を、福岡市社協と共働して推進した。

第2回地域福祉部会（平成28年11月30日開催）において、校区社協会長に対し、事業の説明を行い、空き家情報の収集や活用希望者への広報を働きかけた。

5 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化

(1) 地域福祉ソーシャルワーカー配置体制の強化

平成28年度より従来の校区担当職員を「地域福祉ソーシャルワーカー」として位置づけ、全校区に「地域福祉ソーシャルワーカー」を配置した(事務局長含む5名)。

6 権利擁護事業の拡充

(1) 社会福祉協議会が目指す市民の権利擁護

① 日常生活自立支援事業との連携

認知症や知的・精神障がいなどで金銭管理が不安な方と契約を締結し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う事業を市社協と連携して行った。

<契約者数及び内訳>

区 分	人 数
認知症高齢者	28
知的障がい者	7
精神障がい者	23
合 計	58

<サービス区分別契約者数>

区 分	人 数
福祉サービス	58
金銭管理	58
書類預かり	36

② 法人後見事業(市民参加型後見人の活用)との連携

親族や専門職による成年後見人が得られにくい方に対して、福岡市社会福祉協議会が法人として成年後見人に就任。「福岡市市民後見人養成研修」の修了者(市民後見人)の協力を得て後見業務を行った。

<契約者数> 5名

7 地域福祉を推進するための基盤づくり

(1) 福祉教育関連事業の見直し

福岡市社協において、新たに福祉教育プログラムを検討し、「知的障がい・発達障がいについて学ぶガイドブック」が平成28年度末に完成したため、区社協においては、平成29年度より実施に取り組む。

なお、従来からの小中学校等からの依頼を受け、出前講座を実施した。

※実施状況は、別表4(P22)のとおり。

(2) 地域福祉活動における個人情報共有化の推進

① 「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」の活用

福岡市社協が作成した「地域福祉活動における個人情報共有化に関する指針」を活用し、個人情報の保護と活用についての正しい理解を促し、認識の共有化を図り、個人情報の取扱いのルールづくりに取り組むきっかけとして、出前講座を実施した。

校 区	日時	場所	参加者数
野芥	平成28年12月10日(土)	野芥公民館	24
	平成29年2月18日(土)	野芥公民館	69
原北	平成29年2月9日(木)	原北公民館	35

その他の事業項目

1 小地域福祉活動の推進

(1) 校区社協の運営及び事業に対する助成・支援

校区社協が行う地域福祉活動や、校区社協の運営に対し助成するとともに、運営や事業に対する支援を行った。

区 分	助成金額	内 容
共同募金校区社協助成金	4,381,700円	福岡市全体の一般(赤い羽根)募金より校区社協へ助成
共同募金地区福祉事業費助成金	4,170,400円	前年度、校区で集まった一般(赤い羽根)募金実績額の30%を校区社協へ助成
賛助会費交付金	3,021,950円	前年度、校区で集まった賛助会費の実績額の50%を校区社協へ交付
校区社協活動活性化事業費助成金	604,390円	前年度、校区で集まった賛助会費の実績額の10%を校区社協へ助成

※上記助成金等を活用した各校区社協の事業は別表5 (P22~23) のとおり。

(2) ふれあい3事業(ネットワーク・サロン・ランチ)への助成・支援

①ふれあいネットワーク事業(再掲)

- <助成校区数> 21校区
- <助成額> 2,652,778円
- ※事業の概要は、P3を参照。

②ふれあいサロン事業(再掲)

- <助成校区・箇所数> 24校区(62か所)
- <助成額> 4,299,000円
- ※事業の概要は、P4を参照。

③ふれあいランチ事業

校区社協が中心となって実施している、ひとり暮らしの高齢者や障がい者に地域のボランティアが週2回弁当を宅配して食を支えると同時に交流を図る「ふれあいランチ活動」を支援した。

- <助成校区数> 1校区
- <助成額> 182,854円

校 区	回数・曜日	調理場所	利用者	ボランティア	延べ配食数
百 道	週2回、水・金	グリーンコープ生協	8	13	466

(※平成28年度福岡市地域保健福祉振興基金事業実績報告書より抜粋)

(3) 校区社協広報紙の発行に対する助成

校区社協が地域住民に福祉やボランティアに関する情報を提供する「広報紙(社協だより)」発行事業を推進・支援した。

<助成校区数> 24校区

<助成額> 922,952円

※各校区の実施状況は、別表6(P24)のとおり。

(4) 校区社協が行う地域福祉活動に対する支援

校区社協等が実施するネットワーク会議や研修会等に参加したり、さらに地域ボランティア講座等の開催を支援した。

地域ボランティア講座実施状況は、別表7(P24~25)のとおり。

(5) 安心情報キット及び緊急時連絡カードの普及・活用

① 安心情報キット

緊急連絡先やかかりつけ病院等の情報を記入した安心カードを入れたプラスチック容器(安心情報キット)を、校区社協、民生委員、自治協議会等の協力のもと、ふれあいネットワークの対象者や要援護者台帳登録者などに配付した。

<配布数> 184個

② 緊急時連絡カード

外出時の体調急変などの緊急時に、救急搬送された病院や保護された交番等で緊急連絡先やかかりつけ病院等に連絡がとれるよう、それらの情報を記入できる緊急時連絡カードを独自に作成し、希望者に配付した。

<配付数> 362枚

(6) レクリエーション用具の貸し出し

ふれあいサロン等への貸し出しを目的に、レクリエーション機材を整備し、希望する団体へ貸し出した。

<貸出件数> 20件

(7) 校区社協への研修バス等交流事業への助成

校区社協が、地域住民への福祉に関する啓発や研修会を実施する際、バス代等の経費の一部を助成した。

<助成校区数> 23校区

<助成額> 1,130,000円

※各校区の実施状況は、別表8(P25~26)のとおり。

(8) 校区広報紙研修会の開催 (隔年実施 平成28年度は実施)

日 時	会 場	参加者	内 容・講 師
平成28年 7月19日 (火)	早良市民 センター	31	「プロに学ぶ紙面作りのコツ」 ～魅力ある広報紙の作り方～ 講師：西日本リビング新聞社ビジネス開発室 ディレクター 村上 一朗 氏

2 ボランティアによる社会参加の拡大

(1) 校区社協や公民館との共催による地域でのボランティア養成講座の開催

平成28年度実績はなし。

※地域ボランティア講座 (別表7) を中心に行った。

(2) 社会福祉法人やさわら南よかこネット等が行う社会貢献活動に対する支援

さわら南よかこネットが取り組む社会福祉貢献活動に対する支援を行った。

校 区	名 称	開催回数・曜日	場 所	特 徴
入部	なんふ健康教室&よか とこカフェ	年4回 (5・7・ 11・1月)	入部公民館	カフェや健康相談コーナー 等を担当
	入部校区ふれあいサロ ンすみれ&よかとこカ フェ	年4回 (4・6・ 9・2月)	入部公民館	カフェや健康相談コーナー 等を担当
	民生委員施設見学 ツアー	7月	からざステーショ ン、はびね福岡野芥	民生委員児童委員の施設見 学に協力
	校区人権フェスタ	10月	入部小学校	認知症に関するブースを出 展
脇山	脇山校区わきやま主基 カフェでの健康・介護 出張相談	毎月1回	脇山公民館	健康・介護出張相談
早良	早良校区ロビー喫茶で の健康・介護出張相談	年3回 (6・9・ 12・3月)	早良公民館	健康・介護出張相談

《さわら南よかこネットとは》

野芥、四箇田、入部、早良、内野、曲淵、脇山の介護保険事業所が連携し、地域とともに、認知症の見守りネットワークを作ることを中心に結成。マップづくりによる介護保険事業所の連携強化、認知症声かけ訓練や認知症サポーター養成講座の実施による地域住民への普及活動、介護を行う家族への支援事業に取り組んでいる。

さわら南
よかこネット

(3) ボランティア情報の提供と広報

区社協広報紙「ふくしドームさわら」（年3回発行）の4面に毎号ボランティア活動情報等を掲載した。

(4) ボランティア活動保険等の受付

登録ボランティアに対し、安心安全に活動ができるよう、ボランティア保険の加入促進を行うとともに、一定人数のボランティアに保険掛金の一部を助成した。

- ・ボランティア活動保険 1, 507名（うち、保険料一部助成率は、473名）
- ・行商用保険 27件

3 地域福祉を推進するための啓発

(1) 区社協広報紙「ふくしドームさわら」の発行 (685,103円)

地域住民への「福祉のまちづくり」に対する理解と認識を高め、福祉活動参加へのきっかけ作りとなるよう広報啓発事業を行った。また、視覚障がい者向けに音訳CD版を作成した。

タイトル	内 容	発行部数
「ふくしドームさわら」	A4サイズ・3ページ・フルカラー区・校区社協事業紹介、会計報告等	72～74号（3回） 各47,000部
「早良区ボランティアセンターだより」	A4サイズ・1ページ・フルカラー ボランティア情報等	49～51号（3回） 各47,000部

※「ふくしドームさわら」と「早良区ボランティアセンターだより」は同時発行

(2) 校区社協をはじめ関係機関・団体への「社協ワーカーだより」の発信

校区社協や民生委員、公民館等を対象に、社協職員の動きや活動・事業等を周知する「社協ワーカーだより」を毎月1回発行し、配布した。

(3) 早良区健康まつりでの社協活動の広報

早良区健康まつりにおいて、ふれあいサロンで行われているメニューを体験していただけるよう、「アロマポット作り」及び、「レクリエーション体験」のコーナーを設けた。

実施日	場 所	参加者	内 容
平成28年 10月6日（木）	早良保健所	80 10	アロマポット作り レクリエーション体験

4 運営等及びその他

(1) 理事会・評議員会の開催

会務の方針や事業計画等の重要事項を審議・決定するため、理事会・評議員会を開催した。
また、会務の適正な執行を確保するため、監事監査を実施した。

① 理事会

会議名	開催日	出席者	審議事項
第68回	平成28年 5月30日(月)	15 監事1	(1) 平成27年度事業報告について (2) 平成27年度資金収支決算について
第69回	6月24日(金)	13 監事1	(1) 評議員の選任について (2) 顧問の選任について (3) 会員規程の一部改正(案)について
第70回	12月7日(水)	16 監事3	(1) 定款の変更案
第71回	平成29年 2月13日(月)	15 監事3	(1) 理事・評議員選任規程の一部改正(案)について (2) 評議員選任・解任委員会運営規程(案)の制定について (3) 評議員選任・解任委員会委員の選任(案)について (4) 評議員選任・解任委員会委員の報酬に関する規程(案)の制定について (5) 次期評議員選任候補者の提案について
第72回	3月30日(木)	15 監事3	(1) 平成28年度補正予算案について (2) 定款の一部改正案について (3) 経理規程の一部改正案について (4) 平成29年度事業計画案について (5) 平成29年度収支予算案について (6) 職員就業規則の一部改正案について

② 評議員会

会議名	開催日	出席者	審議事項
第67回	平成28年 5月30日(月)	30 監事2	(1) 平成27年度事業報告について (2) 平成27年度資金収支決算について (3) 理事の選任について
第68回	6月28日(火)	23 監事2	(1) 理事の選任について (2) 監事の選任について (3) 会長、副会長の選任について
第69回	12月7日(水)	31 監事1	(1) 定款の変更案
第70回	平成29年 3月30日(木)	34 監事2	(1) 平成29年度事業計画案について (2) 平成29年度資金収支予算案について

③ 監査

会議名	開催日	出席者	監査事項
監査	平成28年 5月12日(木)	3	事業実績並びに収支状況、法人運営全般の監査

(2) 地域福祉部会の開催

校区社協との連携を強化し、同活動を支援するため、地域福祉部会（校区社協会長会議）や校区社協役員を対象とした研修会を実施した。

① 地域福祉部会（校区社協会長会）

会議名	開催日	出席者	内容
第1回	平成28年 6月10日（金）	23	《協議事項》 (1) 次期理事・監事・評議員候補者の選任について (2) 次期地域福祉部会長、副部会長の選任について
第2回	11月30日（水）	23	《協議事項》 (1) 第5期地域福祉活動計画「校区社協強化策」について (2) 福岡市が実施する「健康とくらしの調査」について (3) 避難行動要支援者名簿の貸与と活用について (4) 社会福祉法人制度改革への対応について
第3回	平成29年 1月31日（火）	23	《協議事項》 (1) 次期理事・監事、評議員候補者の選任について (2) 情報交換
第4回	3月 7日（火）	24	《説明事項》 (1) ふれあいネットワークの拡充について (2) ふれあいサロンの介護予防機能強化について (3) ご近所お助け隊支援事業（新規）について (4) 地域保健福祉振興基金を財源とする事業の助成金について 《議題》 (1) 平成29年度予算概要について（案） (2) 平成29年度事業概要について（案）

② 校区社協役員研修会

日時	会場	参加者	内容・講師
平成28年 9月13日（火）	早良市民センター	49	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「これからの福祉の街づくり」 ～地域包括ケアと住民の意識づくり～ ・講師 九州大谷短期大学福祉学科教授 中村 秀一 氏

(3) 凸凹ネットさわらなど関係機関との連携の充実

① 凸凹ネットさわら

凸凹ネットさわらに加入し、障がい福祉サービス事業所との連携を深めた。

《凸凹ネットさわらとは》

早良区管内の障がい福祉サービス事業所等の連携を深め、障がい者支援の充実を図ることを目的とした組織。事業所間での困難事例検討会や研修会に参加するとともに広く市民に対する福祉啓発を行った。

② さわら南よかここネット

さわら南よかここネット参加事業所PR冊子の作成、認知症声かけ訓練や認知症サポーター養成講座の実施、年6回の全体会議を実施した。

③ 介活ネットさわら中央

さわら中央エリア（原西、有住、飯原、飯倉中央、飯倉、賀茂、有田校区）の福祉事業所ネットワーク構築に向け、事業所有志との協議に参加し、会議の運営に助言・支援を行った。会議を経て、平成29年2月に「介活ネットさわら中央」が発足した。

(4) 自主財源の確保

校区社協と連携し、個人や団体に対して地域福祉への理解のPRに努めることにより、賛助会員の加入促進を図るとともに、香典返しなど、善意の寄附金の受入れに努力し、自主財源の確保に努めた。

① 賛助会員の加入促進

賛助会員募集のパンフレットや説明資料を作成し、校区社協等の協力を得て募集を呼び掛けた。

区 分		件 数	金 額
正 会 員		208	337,500
賛助会員	個人	2,896	6,182,800
	団体	163	
合 計		3,267	6,520,300

② 寄附金の受付

区 分		件 数	金 額
寄 附 金	香典返し	1	30,000
	一般寄附	11	595,165
物品寄附		1	26,400
合 計		13	651,565

③ 共同募金活動の推進と募金の受付

民生委員・児童委員や校区社協、地区民協への働きかけを実施した。また、区社協においても職域募金等を実施した。

(5) 生活保護世帯等一時貸付事業の受託

生活保護世帯や生活保護申請中の世帯及び低所得世帯を対象に、緊急かつ一時的に生計維持が困難な場合に要する資金の貸し付けを行った。

<貸付件数> 273件

<貸付金額> 4,547,000円

(6) 生活福祉資金貸付相談窓口（福岡市社協）との連携

低所得者等の自立更生のための貸付償還事業を、福岡市社協と連携して行った。

<貸付件数>

資金区分		貸付件数
福祉資金	福祉費	12
	緊急小口資金	20
教育支援資金		57
総合支援資金（旧・離職者支援資金）		7
不動産担保型生活資金		0
計		96

(7) 高齢者賃貸住宅入居支援事業との連携

死後の不安を持つ高齢者に対して、預託金を預かり、葬儀・家財処分サービス・死後事務等に関するサービス、定期的な見守り及び入退院時の支援等を行った。（平成22年度で新規受付終了。以後の相談は、「ずーっとあんしん安らか事業」へ移行。）

<契約者数> 6名

(8) ずーっとあんしん安らか事業との連携

死後の不安を持つ高齢者に対して、預託金を預かり、葬儀・家財処分サービス・死後事務等に関するサービス、定期的な見守り及び入退院時の支援等を行った。

<契約者数> 15名

(9) ファミリー・サポート・センター会員の登録及び活動の概況

① 登録者数（人）

区分	依頼会員	提供会員	両方会員	合計
登録総数（H29.3月末）	1,048	207	146	1,401
うち28年度新規登録数	200	24	11	235

② 活動件数・時間

活動件数	2,952件
活動のべ時間	6,704時間23分

(10) ファミリー・サポート・センター会員の交流会の開催

会員相互の交流を図るため、あずかりっこ（援助活動体験）やミニ交流会を開催した。

開催日	会場	参加者	内容
平成28年 6月10日（金）	早良市民 センター	13	あずかりっこ ・援助活動体験・懇談会等
10月27日（木）	早良市民 センター	13	ミニ交流会 ・みんなで話そう！生活に役立つ節約術 ・おしゃべり広場
11月15日（火）	早良市民 センター	13	ミニ交流会 ・おもちゃの選び方講座 ・おしゃべり広場

(11) 生活上のよろず相談会の実施 ※早良区社協独自

早良区にお住まい又は通勤・通学している方を対象に、相続・遺言・生前贈与、後見制度、年金・社会保険、離婚、債務整理、交通事故等生活上の悩みに関する相談会を実施した。（相談は、弁護士・行政書士・社会保険労務士が対応。）

＜開催日時＞ 毎週火曜日 16時～17時30分（祝日、お盆、年末年始除く）

＜場所＞ 早良区社協事務所

＜相談件数＞ 16件

【相談内容】※重複有

相続	1件
遺言	1件
贈与	2件
後見制度	2件
生計	2件
住宅	2件
離婚	2件
健康・福祉・衛生	1件
その他（不動産売買等）	6件

【紹介経路】

市政だより	4件
ふくしドームさわら	2件
回覧チラシ	1件
校区社協	2件
窓口・職員	5件
その他（シニアの智恵袋）	1件
不明	1件

(12) 子育てサロン、育児サークルへの支援 ※早良区社協独自

区内の子育てサロンや育児サークルに対して、レクリエーション講師や子育て中の親等の心身のリフレッシュを図るための講師を派遣し、活動の支援を実施した。

＜派遣か所数＞ 19団体

※派遣状況は、別表9（P26～27）のとおり。

(13) 車いすの貸し出し

177件（うち、香楠荘の貸出 50件）

(14) 福祉バスの受付

86件